

Introduction

～まちの人紹介～



雄武町 副町長

新谷 朋人さん

「田」長が掲げます「たしかな未来を創る!」の実現に向けて努めます。町職員として38年間勤め、住民生活課長、教育振興課長、国保病院事務長などを歴任し、9月の町議会定例会での決議を受け、10月1日から副町長に就任されました。

副町長の打診を受けた時は、自分に勤まるのだからとかという不安が大きかったです。

「今回、お預がけいただいたことに応えたい、自分が生まれ育ってきた雄武町のために役に立たたい」とこの思いから、悩んだ末に受けました。決めたと心内を教えてくれました。

「役場に入つてから野球部に所属し、チームワークの重要性を強く感じています。困ったときはお互いにその部分を補い助け合いながら、職員が一つになつて町政運営に取り組む」と、人口減少にも負けないまちづくりができるのではないかと思います」と語ってくれました。

「副町長の役割は、町長と管理職員を繋ぐパイプ役が大きくなると思っています。高橋町長の補佐役として、全町職員のまとめ役として、高橋町長の掲げています『たしかな未来を創る!』の実現に向けて尽力していくます」と副町長としての思いを力強く語ってくれました。



雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすることを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和46年3月19日制定

♦編集後記 Editor's note

▼夏の暑さも過ぎ去り、外を散歩するにはちょうどいい気候になってきました。さて、本紙の情報ひろばにも掲載していますが、10月1日を基準日とした雄武町基本調査について実施されています。この調査は、雄武町の基本的なデータを集計し、町運営に反映するための大規模な調査となります。調査票を記入し、調査員にご提出していただくよう皆さんのご協力をお願いいたします。(松井)